



# 西尾けんいち 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## どうする90億円の財源不足



# 自然環境整備交付金打ち切り

### 9月県議会 自民党代表質問



県民の幸せと地球環境保全のために全力を尽くす西尾憲一議員

我万人のしもべとなりむーを政治信条に掲げ、充実の県議三期目に入った船橋市選出の西尾憲一(にしお・けんいち)県議は、九月定例会議会で初めて自民党の代表質問者として本会議場に登壇し、党の立場から堂本県政の基本姿勢をいただきました。

この中で、西尾県議は一向に進まない三番瀬再生について、「知事に方向性がないからだ」などと厳しく追及しました。また、財政問題でも九十億円にも上る本年度予算の財源不足を、どう解消するのか―など県政の課題を質問しました。

主な質疑の内容を1、2面で特集しました。

西尾議員 三番瀬に関わる国からの自然環境整備交付金が切られたということだが、その理由は何か。

堂本知事 三番瀬に対する交付金は、平成十七年度から三年間の期間で交付対象として認められたものでしたが、期間終了に際し、地元利害関係人の合意が得られず、国指定の鳥獣保護区の指定に向けた具体的なスケジュールが示せず、交付金の延長申請は見送ることとなりました。

本年度は交付金が受けられないことから、必要な事業については、県単独で予算措置をしています。なお、環境省からは、環境が整えば再び交付対象とすることはできると聞いています。

西尾議員 三番瀬についての方向性が知事には全くない。初めから第三者に委ねる手法は、丸投げだ。

これまでに会議費などどのくらい経費をつぎ込んだのか。

堂本知事 住民の方たちを含めて、地に足のついた形で考えていただくために円卓会議を開き、専

門的にもレベルの高い報告もいただき、それはきちんとした方向性のなされた内容です。

三番瀬円卓会議及び再生会議等の会議費は約九千万円です。調査費は約三億七千万円です。

北総線の値下げ案を議論

西尾議員 九月補正予算段階で解消していない九十億円の財源不足は、どのように解消していくつもりか。

堂本知事 当初予算における百四十五億円の財源不足については、九月補正段階では、地方交付税等が増額になったことや、前年度からの繰越金が確保できたことから、九十億円に縮小することになりました。

しかしながら、依然として財源不足を抱えている状況に変わりはなく、さらに現在の景気動向からみて、税収の見通しもなお不透明なことから、決して樂觀が許される状況ではないと考えています。

今後も、滞納額の縮減等による県税収入の確保、事業執行段階でのさらなる経費節減などに全庁一丸となつて取り組み、何とか年度内に財源不足を解消してまいります。

西尾議員 北総線の運賃値下げに対する、六月定例会議後の取り組み状況

西尾議員 北総線の運賃値下げに

北総線の運賃値下げに

北総線の運賃値下げに

### 西尾憲一プロフィール

○略歴○

- 昭和25年12月 石川県金沢市生れ
- 昭和48年3月 早稲田大学第一法学部卒業、農業、会社員、代議士秘書
- 平成7年4月 船橋市議選初当選
- 平成11年4月 県議選初当選
- 平成12年6月 衆院4区の自民党公認候補
- 平成13年3月 県議補選で再選
- 平成15年4月 県議選3選
- 平成19年4月 県議選4選

○現職○

- 県議会 総合企画水道常任委員会副委員長
- 党県議会 地球環境問題対策議員連盟幹事

県政のことはお気軽に

## 西尾けんいち事務所

〒273-0865 船橋市夏見4-16-4  
TEL.047-460-1061  
FAX.047-460-1062

●ホームページ=http://k-nishio.com ●Eメール=nishio-kenichi@nifty.com

みどりを守り育てる新税(1世帯年500円)で、房総の豊かな森の保全と都市部の貴重な森の保存を



# 人と地球におもいやりを 小児科医の確保に補助制度

## 支援対策本部を設置

### 自治体病院の経営悪化で

**西尾議員** 各地域の自治体病院の経営が大変厳しい状況になっているが、県は今後、どのように取り組んでいくのか。

**堂本知事** これまで大学医局に多くを依存してきた自治体病院では、現在、医師不足等による診療体制の縮小や経営悪化など極めて厳しい状況にあります。

**西尾議員** 小児医療の充実について、医師数や体制などはどうなっているのか。

**堂本知事** 少子化時代にあつて、次世代育成の一環からも小児医療の充実は大変重要な問題です。

**西尾議員** 各地域の自治体病院の経営が大変厳しい状況になっているが、県は今後、どのように取り組んでいくのか。

**西尾議員** 小児医療の充実について、医師数や体制などはどうなっているのか。

**堂本知事** 少子化時代にあつて、次世代育成の一環からも小児医療の充実は大変重要な問題です。



千葉市緑区の県子ども病院 =分べん機能を付加=

厚労省の調査では、本県の小児科医の数は、平成十六年には研修医を含めて五百二十四名でしたが、最新の十八年の調査では、調査方法が変わったことから、研修医を除いた数は小児科医五百二十五名となっています。

**西尾議員** 食の安全・安心の確保について、県はどのように取り組んでいるのか。

**植田副知事** 県では、食品の安全性を確保するため、食品衛生法や条例により、生産から消費にいたる総合的な施策について全庁的に取り組んでいます。特に、保健所では、定期的に監視指導を行うとともに、食品添加物や残留農薬等の検査を実施し、違反を発見した場合、国や関係自治体と連携して違反食品の排除に努めています。

県では、小児科に勤務する医師の過重労働を解消するため、交代性勤務等を導入する病院への補助制度を行うなど、小児科医の確保に努めているところです。

- #### 自民党代表質問の骨子
1. 財政問題について
  2. 水問題について
  3. 北総線の運賃問題について
  4. 医療問題について
    - (1) 自治体病院に対する支援
    - (2) 救急医療体制の充実
    - (3) こども病院への周産期医療機能の付加と小児医療
    - (4) 千葉県大規模コホート調査
  5. 食の安全・安心について
  6. 三番瀬問題について
    - (1) 三番瀬に係る自然環境整備交付金
    - (2) 三番瀬海域における漁業補償問題
  7. NPO法人の監督について
  8. 今後の企業立地施策について
  9. 農林水産業問題について
    - (1) 燃油価格高騰対策
    - (2) 米の生産調整
  10. 教員採用選考について
  11. その他

**西尾議員** 食の安全・安心の確保について、県はどのように取り組んでいるのか。

**植田副知事** 県内では、習志野市の米穀販売会社及び長南町の肥料・飼料会社へ事故米が流通していましたが、関東農政局千葉農政事務所及び管轄保健所の立ち入り調査の結果、習志野市の米穀販売会社では、食用として流通されずすべが九月十七日に返品されたことを確認しました。また、長南町の肥料・飼料会社ではこれまでの調査では食用として流通した事実が認められませんでした。現在、販売先を含めた確認作業を行っているところです。

**西尾議員** 今回の非食用

**西尾議員** 今回の非食用

**西尾議員** 今回の非食用

**西尾議員** 今回の非食用

## 誠実に県政

### 9月県議会自民党代表質問

# 西尾けんいち 県議

また、十月下旬には米の生産者、製粉



米粉こめパン =船橋市内のコンビニ=

印旛沼は水道用湖沼として全国ワースト1位で、多くの県民も飲んでます。水質浄化にご協力を。